

政策シート (政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 廃棄物処理施設管理費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

浜松市全域のごみを効率的に処理するために施設整備を図るとともに、下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理計画区域外において、適正な汚水処理を目指し、美しい環境の保全・再生につなげていきます。

◇政策のコスト (千円)

◇政策のコスト (千円)		H27
年関係費(A+B+C)	予算	2,827,714
	決算	
	事業費 (A)	2,637,914
	人件費 (B)	189,800
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
新清掃工場建設の進捗率	%	100	目標	6
			実績	
し尿処理施設の長寿命化の進捗率	%	100	目標	8
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	西部清掃工場運営事業				1,050,718	1,038,818	1.7				
2	衛生工場運営事業	○	○		961,629	890,229	7.6	2.0	1.0	3.0	
3	ごみ処理施設整備事業				34,140	32,740	0.2				
4	新清掃工場整備事業	○	○		688,030	641,390	6.2	0.9			
5	旧ごみ処理施設管理事業				31,018	22,618	1.2				
6	一般廃棄物処理施設整備事業 基金積立金				1,401	701	0.1				
7	廃棄物処理施設管理運営経費 (一般諸経費のみ)				60,778	11,418	7.0	0.1			
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					2,827,714	2,637,914	24.0	3.0	1.0	3.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 西部清掃工場運営事業

◇事業目的・事業対象

西部清掃工場の適正な運営・維持管理

◇事業の概要

対象施設: 西部清掃工場

- ・平成21年2月稼動し、PFI手法(DBO方式)により、民間委託
- ・処理対象物: 可燃ごみ、他工場焼却灰、下水汚泥等
- ・処理対象物をスラグ、精製塩やミックスメタルに再資源化し、最終処分場の延命化に貢献
- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO)へ蒸気とごみ発電による電気を安定供給
- ・湖西市の可燃ごみの処理委託

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H20	H35	一般会計	自治事務(法令事務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,038,818
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	756,917
	一般財源	281,901
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	11,900
人工	正規	1.7
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
可燃ごみの適正処理量の累計値(t)		121,000		484,000	-
ごみ発電出力の累計値(MWh)		36		144	-

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 西部清掃工場運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 衛生工場運営事業

◇事業目的・事業対象

・市域の公共下水道未使用の家庭及び事業所から排出されるし尿及び浄化槽汚泥を適正処理し、環境負荷の低減を進める。
 ・強靱なし尿処理体制を確立するため、現なし尿処理施設の統廃合を見据えた改修工事と予防保全により、施設を長寿命化することで、安定的な処理体制の構築と維持管理コストの削減を図る。

◇事業の概要

①衛生工場維持管理事業

- ・稼働中のし尿処理施設は4施設。処理工程で発生する汚泥を、乾燥し肥料として農地還元する。
- ・西部衛生工場では、前処理設備でし渣を除去し、希釈調整して下水道放流する。
- ・休止中の浜北クリーンセンターは、大規模災害時の一時貯留施設として位置づけ維持管理する。
- ・東部衛生工場及び西部衛生工場の運営維持管理に係る包括的外部委託化を進める。

②【重点戦略項目No.66】(新規)衛生工場長寿命化事業

- ・浜松市衛生施設長寿命化計画に基づき施設を改修し、強靱なし尿処理体制を確立する。
- ・これまでの事後保全体制から、予防保全体制とすることで、求められる性能水準を保つ。
- ・機器の更新や水槽等のRC構造物の経年劣化に対して補強や防食等の対策を行い、施設の長寿命化を図る。
- ・東部衛生工場と西部衛生工場の長寿命化工事を実施したのちに、大規模災害時の一時貯留施設を視野に入れた施設の統廃合を行い、安定的な処理体制の構築と維持管理コストの削減を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S56	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	○

◇事業のコスト

		H27	
事業費(千円)	予算	890,229	
	決算		
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	890,229	
	一般会計繰入金		
	人件費(報酬等) (千円)		
	人件費 (千円)	71,400	
人工	正規	7.6	
	再任用(h31)	2.0	
	再任用(h26)	1.0	
	非常勤	3.0	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
運営維持管理に係る包括的外部委託化(施設数)		0			2
長寿命化計画に基づく施設整備の進捗率(%)		8			100
東部衛生工場長寿命化工事進捗率(%)	66	12.4		達成(H29)	-

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 衛生工場運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
66	<ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場 B系列リニューアル工事 ・西部衛生工場 し尿投入槽整備工事 シーケンサ更新工事 沈殿槽整備工事 苛性ソーダ貯留槽更新工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場 B系列リニューアル工事 ・西部衛生工場 浄化投入槽整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場 B系列リニューアル工事(完了) ・西部衛生工場 沈砂槽整備工事 水洗浄塔整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・西部衛生工場 分離液槽整備工事 アルカリ洗浄塔整備工事
〇〇				

事業シート (事業名) ごみ処理施設整備事業

◇事業目的・事業対象

ごみ計量システムの適正な維持管理

◇事業の概要

①現 計量システムの運営

- ・市内の廃棄物処理施設の計量機で得られるデータをネットワークで結び、計量データを管理する。
- ・計量データは、一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料などで利用する。
- ・現計量システムは平成27年度末まで賃貸借契約で運用しており、平成28年度以降は再賃貸借等の運用とする。

②新 計量システムの構築

- ・システムの老朽化に伴い、現行システムと同等以上のシステムを構築する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	32,740
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	32,740
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		1,400
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
新計量システム構築の進捗率(%)		0.2		100	—

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) ごみ処理施設整備事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 新清掃工場整備事業

◇事業目的・事業対象

浜松市の一般廃棄物を安全・安定的に処理するため、新しくごみ処理施設を整備する。

◇事業の概要

【重点戦略項目No65】

新清掃工場の建設準備

- ・施設基本計画に基づき、敷地造成の調査・設計を進める。
- ・環境影響評価における現地調査を行う。
- ・PFI事業者募集に向け、要求水準書を作成する。
- ・周辺道路整備に向け、測量・設計を進める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H23	H36	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	641,390
	決算	
	国・県支出	125,323
	市債	367,300
	その他	100,000
	一般財源	48,767
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		46,640
人工	正規	6.2
	再任用(h31)	0.9
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
新清掃工場建設の進捗率(%)		2			100
施設建設による環境への影響調査進捗率(%)	65	68		100	-
施設の建設と運営を行う民間事業者の選定事業進捗率(%)	65	32		100	-

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 新清掃工場整備事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
	-----	-----	-----	-----▶
65	環境影響評価 PFIアドバイザー業務 造成設計 アクセス道路設計 周辺道路設計	環境影響評価 PFIアドバイザー業務 用地買収	環境影響評価(終了) PFIアドバイザー業務 (終了) 用地買収 周辺道路工事 プラント実施設計	環境影響評価事後評価 PFIモニタリング業務 造成工事 アクセス道路工事 周辺道路工事 プラント実施設計
〇〇				

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

西区及び北区の休止及び廃止したごみ処理施設を適正に管理する。

◇事業の概要

- ① 旧焼却施設管理(舞阪町クリーンセンター、三ヶ日ごみ処理センター跡地)
 - ・不法投棄や放火などを未然に防ぐための適正管理
 - ・舞阪町クリーンセンターの解体の実施
- ② 旧最終処分場管理(静ヶ谷最終処分場、舞阪吹上第1廃棄物最終処分場)
 - ・静ヶ谷最終処分場内の環境等の調査と廃止に向けた検討
 - ・不法投棄や放火などを未然に防ぐための適正管理

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(法令事務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	22,618
	決算	
	国・県支出	4,950
	市債	
	その他	
	一般財源	17,668
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		8,400
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
舞阪町クリーンセンター解体の進捗率(%)		1		100	—

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 一般廃棄物処理施設整備事業基金積立金

◇事業目的・事業対象

廃棄物処理施設の建設等に係る資金の一部積立

◇事業の概要

基金積立の事務

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	701
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	701
	一般財源	
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 一般廃棄物処理施設整備事業基金積立金

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 廃棄物処理施設管理運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

廃棄物処理施設管理課の運営経費

◇事業の概要

廃棄物処理施設運営事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	11,418
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	11,418
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		49,360
人工	正規	7.0
	再任用(h31)	0.1
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 廃棄物処理施設管理運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理
(予算費目名) 南清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

南部清掃工場の適正な運営維持管理をすることにより、市民の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。

◇政策のコスト（千円）

◇政策のコスト（千円）		H27
年関係費(A+B+C)	予算	832,228
	決算	
	事業費 (A)	475,828
	人件費 (B)	356,400
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
焼却場の安定稼働日数	日	—	目標	364
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	ごみ焼却施設運営事業		○		770,181	459,281	40.7	1.0	0.0	8.0	
2	南清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)				62,047	16,547	6.5	0.0	0.0	0.0	
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					832,228	475,828	47.2	1.0	0.0	8.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ焼却施設運営事業

◇事業目的・事業対象

南部清掃工場の安全・安心なごみ焼却及び適正な運営維持管理を行う。

◇事業の概要

- ・南部清掃工場に搬入される可燃ごみを適正かつ効率的に処理するため、最新の公害防止・自動化・省エネシステムを導入し24時間運転する。
- ・燃焼ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分を電力会社へ売却し有効活用を図る。
- ・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行う。
- ・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和39年度	平成32年度	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	459,281
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	459,281
	一般財源	0
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		310,900
人工	正規	40.7
	再任用(h31)	1.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	8.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
焼却場の安定稼働焼却量(118,000t)に対する安全率(%)		±5			-
焼却場の安定稼働日数(日)		364			-

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) ごみ焼却施設運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 南清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	16,547
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	16,547
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		45,500
人工	正規	6.5
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 南清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理
(予算費目名) 平和清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

- 安全かつ効率的なごみ処理体制を確立するとともに最終処分場施設の適正な維持管理を行う。
- 埋立処分地の延命化を図る。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	675,944
	決算	
	事業費 (A)	586,184
	人件費 (B)	89,760
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率	%		目標	15以上
			実績	
平和最終処分場第2期埋立進捗率	%	62	目標	37
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	不燃物等処理施設運営事業				380,541	357,621	1.9	1.0	0.7	1.5	
2	埋立処分場運営事業				235,639	211,959	2.3	0.4	0.1	2.1	
3	平和清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)				59,764	16,604	5.2	0.0	1.2	1.3	
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					675,944	586,184	9.4	1.4	2.0	4.9	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 不燃物等処理施設運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物破碎処理施設を適正に運営維持管理することにより、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

◇事業の概要

不燃・連絡ごみを破碎しごみ減容化を図るとともに、排出される鉄・アルミ等の資源物を適正に再資源化する。

- 対象施設: 平和破碎処理センター
- 施設の運転管理及び設備保守点検等を実施する。
- 可燃物と不燃物の選別機能や資源物選別回収の適正効率を維持するため改修工事等の施設整備を行う。
- 公害関係法令を遵守し、臭気、騒音、振動、排水等の公害対策を講じて規制値以下とする。

【新清掃工場破碎処理センターの平成32年度供用開始(見込)に伴い平和破碎処理センターは廃止する予定】

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
明治44年度		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	357,621
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	115,655
	一般財源	241,966
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	22,920
人工	正規	1.9
	再任用(h31)	1.0
	再任用(h26)	0.7
	非常勤	1.5

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率(%)		15以上		15以上	

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 不燃物等処理施設運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 埋立処分場運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物埋立処分地を適正に運営維持管理することにより、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

◇事業の概要

- 対象施設:①平和最終処分場及び浸出水処理施設
 ②引佐最終処分場及び浸出水処理施設
 ③舞阪吹上第2廃棄物最終処分場
- 最終処分場の適正管理を行う。
- 西部清掃工場から排出される熔融飛灰固化物等及び平和破碎処理センターから排出される破碎不燃ごみや土砂・がれき等の破碎処理困難物を平和最終処分場に適正に埋立処分を行う。
- 平和及び引佐の最終処分場埋立地に浸透した雨水を公共用水域に放流するため、浸出水処理施設において水質基準を満たすよう適正に処理する。
- 埋立処分及び維持管理に伴う臭気、騒音、ダイオキシン、水質等の環境測定や検査を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	211,959
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	50,000
	一般財源	161,959
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		23,680
人工	正規	2.3
	再任用(h31)	0.4
	再任用(h26)	0.1
	非常勤	2.1

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
平和最終処分場第2期埋立進捗率(%)		37		46	62

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 埋立処分場運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 平和清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	16,604
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	99
	一般財源	16,505
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		43,160
人工	正規	5.2
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	1.2
	非常勤	1.3

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 平和清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理
(予算費目名) 浜北環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

浜北清掃センターの新清掃工場の稼働後の解体を視野に入れ、その上で災害時におけるバックアップ施設としての在り方を検討する。その間、必要最小限度の維持管理を行う。
浜北環境センターの保全協定に基づく使用期限の延長について、地元町内会との協議を行う。併せて、環境保全のための適切な施設の運転管理を行う。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	56,729
	決算	
	事業費 (A)	46,369
	人件費 (B)	10,360
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
最終処分量	m ³ /年	530	目標	530
			実績	
90t炉・40t炉の解体及びごみ集積地としての整備並びに仮設炉施設地の整備	%	100	目標	0
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	旧ごみ処理施設管理事業				15,718	9,558	0.8			0.2	
2	埋立処分場運営事業				41,011	36,811	0.6				
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					56,729	46,369	1.4	0.0	0.0	0.2	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

ごみ処理施設の休止に伴う適正な維持管理

◇事業の概要

- ・休止施設の適正な維持管理
- ・新清掃工場稼働までの災害時バックアップ施設として必要最小限の維持管理
- ・稼働後には、できるだけ速やかに解体をし、災害時の収集拠点としての整備

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和49年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	9,558
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	9,558
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		6,160
人工	正規	0.8
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.2

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
90t炉・40t炉の解体整地(%)	—	0			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 埋立処分場運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物埋立処分地施設の適正な運営維持管理

◇事業の概要

- 埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理
- 廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定に基づく基準の遵守と環境保全
- 地元との環境保全協定の期間満了による使用期限延長についての協議

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成14年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	容器包装リサイクル法	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	36,811
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	36,811
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		4,200
人工	正規	0.6
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
埋立量(m ³ /年)	—	530			530

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 埋立処分場運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理
(予算費目名) 天竜環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

合併前にそれぞれ独自の施設、方法により実施してきたものを、施設の耐久年数を踏まえた統廃合や処理方法の変更等によって効率化していく。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	23,982
	決算	
	事業費 (A)	9,982
	人件費 (B)	14,000
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
ごみ処理施設の解体整地 (%)	%	60	目標	0
			実績	
最終処分場の整地借地返還 (%)	%	100	目標	0
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	やります	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	旧ごみ処理施設管理事業				23,982	9,982	2.0				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					23,982	9,982	2.0	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

休止及び廃止した処理施設を適正に維持管理する。

◇事業の概要

- 旧焼却施設等管理事業
 休止・廃止したごみ処理施設の水質検査等の業務委託を行う。
- 旧埋立処分場管理事業
 埋立終了した最終処分場の水質検査等の業務委託を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成18年度	—	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	9,982
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	9,982
一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		14,000
人工	正規	2.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
ごみ処理施設の解体整地(%)	—	0		40	60
最終処分場の整地借地返還(%)	—	0		67	100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

行財政改革の取り組み (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇取組概要

旧ごみ処理施設(2施設)において、施設の解体撤去を行い、借地の解消を通じた市の財政負担の軽減と市有地の有効活用を図る。【施設状況】天竜清掃センター:H28解体(以降、市有地の有効活用を目指す)、天竜不燃物処理センター:借地返還の推進(H23解体済)

◇行財政改革の視点 3 ファシリティマネジメントの推進

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する口にチェック)

- 行政経営計画 取組番号 _____
 取組事項名 _____
- 個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	借地面積 (ha)	計画値	2.8	2.8	1.5	1.5	(H30) 1.5
		実績値					
2	施設の解体撤去 (箇所) ※最終値は4年間の累計	計画値	0	1	0	0	1
		実績値					
3		計画値					
		実績値					
効果額 (千円)			0	0	0	0	0

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況》

政策シート (政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 下水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇政策のコスト (千円)

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	29,113
	決算	
	事業費 (A)	28,413
	人件費 (B)	700
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	下水道事業会計負担金				29,113	28,413	0.1	0.0	0.0	0.0	0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					29,113	28,413	0.1	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 下水道事業会計負担金

◇事業目的・事業対象

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇事業の概要

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	28,413
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	28,413
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 下水道事業会計負担金

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

行財政改革の取り組み (事業名) 下水道事業会計負担金

◇取組概要

◇行財政改革の視点 _____

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

- 行政経営計画 取組番号 _____
 取組事項名 _____
- 個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	計画値					
	実績値					
2	計画値					
	実績値					
3	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		0	0	0	0	0

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

